

バイオマス取組事例概要

(平成18年度バイオマス利活用優良表彰 地域資源循環技術センター理事長賞)

九州

・応募主体

サザングリーン協同組合

・都道府県・市町村

鹿児島県額娃町

・取組分野

飼料化、堆肥化

取組概要

焼酎蒸留残渣から乾燥飼料及び化成肥料等を生産、地元畜産農家等へ販売。

焼酎粕(68,629t/年)を固液分離装置により固体と液体に分離し、一部の固体部分は生飼料(864t/年)として畜産農家に販売。また、液体部分をメタン発酵装置(ICリアクター)に送り、得られたメタンガスを脱硫後、ガスボイラーで燃焼し蒸気を発生させ、この蒸気を熱源として固液分離された固形部を乾燥させ、水分10%以下の乾燥飼料(1615t/年)を製造し、配合飼料メーカーへ販売。固体部分の乾燥に必要な原油換算熱量の66.5%を生産したメタンガスで賄う。

メタン発酵液からは、リンを取り出し、化成肥料化(5t/年)。メタン発酵後液を活性汚泥処理する過程で発生する余剰汚泥は水熱処理し、これをメタン発酵に戻し、繰り返し処理を行うことにより極力汚泥を持ち出さずに同施設内で処理するシステム。

